

銀行名	横浜銀行
タイトル	事業性評価を通じた課題解決支援
取組み内容	<p><b>【動機(経緯)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行の業界分析や市場動向の調査をもとに、A社(介護事業)の経営者らとディスカッションをおこなった結果、以下の課題認識があることを共有した。  急速な業容拡大に伴い、社員の大半を中途採用者が占めている  社員に対しどのような形でキャリアパスを実践していくか  地域でご高齢の方を見守り、健康をサポートする新たなネットワークの構築</li> </ul> <p><b>【主な取組み内容】 / 【成果(効果)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 、 については、「社員のモチベーションを高めるための人事制度の構築」のため、浜銀総合研究所の人財マネジメントに関する経営コンサルティングサービスを提案。</li> <li>・ A社と浜銀総合研究所はコンサルティング契約を締結、今後、課題解決に向けて具体的な戦略を立案していく予定である。</li> <li>・ については、ご高齢のお客さまが来店することが多い当行の一部の支店に無料介護相談コーナーを設置し、A社の専門職員が店頭に来店されたお客さまに無料で介護相談を実施した。</li> </ul>

銀行名	横浜銀行
タイトル	【海外進出支援】 お取引先のフィリピン新規進出支援
取組み内容	<p>【動機(経緯)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行取引先 A 社（金属製品製造業）は、初めてとなる海外（中国）進出の検討を開始し、当行に相談があった。</li> </ul> <p>【主な取組み内容】 / 【成果(効果)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行による進出相談・情報提供を続けるなか、A 社は取引シェア、輸送コスト、競合他社の進出状況等を勘案し、当初検討の中国ではなくフィリピンへの進出を決定。</li> <li>・ 現地進出にあたり、A 社は以下のような支援ニーズを有していた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>進出候補先工業団地の情報収集</li> <li>現地法人設立や各種契約等の手続き面のサポート</li> <li>現法設立のための出資金、設備・運転資金の調達および現地への送金</li> </ul> </li> <li>・ および については、ジェット口の専門家派遣制度を案内。同制度の活用により、現地工業団地の視察や各種手続き等のサポートを受けることができた。</li> <li>・ については、まず資本金受取用の預金口座開設のため、フィリピンの現地提携銀行を紹介。同行の現地ジャパンデスクとも連携しながら口座開設をサポートした。</li> <li>・ 資金調達については、当行がアレンジャーとなって取引他行とシ・ローンを組成。資金協力とともに、国内から現地への出資金送金をサポートした。</li> </ul>

銀行名	横浜銀行
タイトル	<p>【事業再生が必要とされる顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮】  地元老舗旅館に対する事業再生(事業譲渡・保証債務整理)の取組み</p>
取組み内容	<p>【動機(経緯)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業 300 年超の老舗温泉旅館。10 年ほど前に、大規模リニューアル工事を行い、当行は当該工事の資金協力にて取引を開始。</li> <li>・しかし、経営陣の力量不足という問題を内包しており、現場従業員に対する変更後の旅館コンセプトの浸透不足やインターネットなどによる営業活動の不足などから、集客増につながらず売上が伸び悩み赤字に陥る一方で、借入負担が重くなっていた。</li> <li>・その後も赤字決算から自力での脱却ができず、直近期では不動産の含み損を含めると大幅な債務超過となっていた。</li> <li>・こうした中、当社存続のため中小企業再生支援協議会(以下、支援協)を活用、旅館コンサルによる常駐管理などの経営改善に着手。</li> <li>・上記コンサル等の活用による経営改善策により、一時は業績が回復したものの、最終的には箱根大涌谷における噴火警戒レベルの引上げ等、外部環境の急激な変化に対応できずに、全館休館となった。</li> </ul> <p>【主な取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援協を活用した、同業者による事業承継および経営者保証ガイドラインによる保証債務整理。</li> <li>・平成 27 年 12 月に同箱根地区で旅館を経営する A 社と事業譲渡契約を締結し、譲渡対価は約 2 億円で着地。</li> <li>・支援協主導のもと、事業譲渡にて事業再生することとなった。</li> <li>・経営者保証ガイドラインに基づき保証債務は主たる債務との一体整理を実施。</li> <li>・経営者責任として、現経営陣は全て退任し、A 社の役員にも就任せず。また、当社に対する役員借入金及び担保物件売却に伴い発生する求償権について債権放棄を行う予定。</li> </ul> <p>【成果(効果)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業譲渡により、創業 300 年超を誇る当社旅館ブランドを維持することができたうえ、スポンサー企業による従業員の再雇用や既存取引先の取引継続の意向もあり、地域経済への悪影響は極小化が図れた。</li> <li>・金融機関としても、破産配当(配当ゼロ)より多くの回収(事業譲渡代金の一部)が見込まれることから、経済合理性が認められる。</li> </ul>

銀行名	横浜銀行
タイトル	【顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮（事業承継・M&A）】 事業承継・M&A（譲渡）にかかわる支援
取組み内容	<p>&lt;事業承継が必要とされる取引先に対するコンサルティング提案&gt;</p> <p>【動機(経緯)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産管理業A社・実質同一先で建築業B社があり、代取60歳(A社株式60%所有)と代取妻(同40%)でA社株式を全株所有。後継者は次男30歳を予定。</li> <li>・自社株評価が高額であり、さらに業績好調にともない今後のさらなる株価上昇も見込まれる。将来を見据え、相続税を抑えつつ円滑に後継者に承継するという点に関して悩んでいる状況であった。</li> </ul> <p>【主な取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部の専門セクションと営業店が連携し、顧客ニーズの解決のため、提携税理士法人を絡め以下の提案を実施。</li> </ul> <p>提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A社は香港法人(C社)への出資持分2億円を保有しているが、C社が将来的に上場しA社の株価が高騰することで、代取の相続財産が増加する可能性があるため、会社分割によりC社株式のみを切り離し(新設法人D社に移転)後継者に円滑に承継できる構成とすることを提案。</li> </ul> <p>提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A社を親会社、B社を子会社とする株式交換を行い、さらにその上に株式移転によりHDを新設することにより代取夫妻の保有する株式評価の引き下げを提案。</li> </ul> <p>【成果(効果)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記提案を実施。その後、株式交換を伴うスキームにより上記に着手。お客さまの借入れ負担を軽減したスキームの実施となった。他行からの提案では、新設HDでA社株式を全株買取る提案のみであり、借入負担等を勘案し得策でないと判断。当行からの提案によりお客さまの希望を実現するための解決策が見出せたとの評価をいただき、お客さまの抱える課題に対して解決策を示すことができた。</li> <li>・また、当行は新設HDに対して株式買取資金を融資協力。新規融資先を獲得することができた。さらに、コンサルティング契約を締結し手数料の獲得に繋がった。</li> </ul> <p>&lt;M&amp;A（譲渡）による成長促進に関する課題解決&gt;</p> <p>【動機(経緯)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B社はA社が営む分野での規模拡大を模索しており、A社の譲受を検討したいとの申し出があった。</li> <li>・A社は老舗のアパレル会社。後継者不在及び自社単独での成長限界を課題として抱えていた。</li> <li>・一方で、B社はA社の同業であるが、多角化を進め、他分野とのシナジーを追求し、グループ全体での価値を高めてきた会社。</li> </ul>

**【主な取組み内容】**

- ・ 当行がA社のアドバイザーとして起用される。
- ・ 当行は、A社のアドバイザーとして、A社の課題解決に則したM&Aとなるようアドバイスしながら交渉を進めた。
- ・ その後、3ヶ月の交渉期間を経て、成約に至った。

**【成果(効果)】**

- ・ A社はB社の傘下となることで、B社グループの近隣の他業種と協業が可能となり、A社自身の成長機会が得られた。
- ・ 合わせて、B社から人材を受け入れることにより、後継者問題の解決も図れた。

銀行名	横浜銀行
タイトル	<p>【「まちの創生」に係る取組み】</p> <p>地域の活性化を意識した、神奈川県下におけるPFI事業に対する積極的な関与</p>
取組み内容	<p>【動機(経緯)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度以降、神奈川県下におけるPFI事業が増加しており、当行は夫々のPFI事業に対して、代表企業および構成企業に対するビジネスマッチングを含めて、積極的に関与している。</li> </ul> <p>【主な取組み内容】</p> <p>川崎市学校給食センター整備等PFI事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川崎市は中学校給食の完全実施を目的としてPFI事業(BTO方式)により学校給食センターの整備を決定。平成27年に南部、北部、中部の3地区に分け、それぞれ総合評価一般入札方式による入札を実施し、給食運営事業者を選定するPFI事業を展開している。</li> <li>当行は、入札を検討しているコンソーシアムに対して継続的にアプローチを実施。事業計画の把握とニーズの聴取を進めたところ、PFI事業の遂行に必要な地元企業の参加について、連携が必要と判明。支店と本部が一丸となり、川崎市に所在する地元企業とのビジネスマッチングを実施させた。</li> </ul> <p>横浜市みなとみらい21中央地区20街区MICE施設整備事業PFI事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みなとみらい地区におけるMICE施設の整備事業(PFI事業)。</li> <li>本件では、MICE施設の整備と同時にホテル事業を必要とするため、MICE施設の整備を担うゼネコンに対し、ホテル運営事業者との連携及びマッチングを模索。</li> <li>当行は、PFI事業向けアレンジャーには就任できていないものの、融資以外のニーズを積極的に捉え、本事業の関係会社向けの取引拡充を目指している。</li> </ul> <p>【成果(効果)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨今、PFI事業向け融資に対する貸付人間の競合が厳しく、融資に係るレンダラーの経済的なメリットが低下する中で、PFI事業向けの融資以外に、関係会社に向けたビジネスマッチングや取引拡充を志向した取組みにより、PFI事業を中心として、地域の開発や、地元企業及び当行取引先に対するメリットを与えることが出来ている。</li> <li>また、結果として、PFI事業に対する当行の取引採算向上につながっている。</li> </ul>

銀行名	横浜銀行
タイトル	横須賀市の給食センター設立に関する情報提供等の取組み
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀市内の中学校は、ミルク（牛乳）のみを提供する「ミルク給食」であり、主食・副菜等はパン・弁当の注文販売にて対応している。</li> <li>・しかし、市民からセンター給食実施の要望は強く、ここ10年近く議論が継続していた。</li> <li>・今年3月の議会において、事業検討の予算として626万円が計上され、市長からも前向きに検討するとの施政方針が発表された。</li> </ul> <p><b>【主な取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月の正式決定によって、事業実施の中心となる教育委員会と接点を持ち、下記のようなヒアリングを行なった。        中学校生徒数が約1万人と大規模であることから、センターは2ヶ所で建設する可能性が高いこと。        小学校給食は自校方式で行なっているため、民間の給食センター運営業者、コンサルティング会社とはあまり接点が無く、当行から信頼できる事業者の紹介を希望。        川崎市等、センター建設実施中の自治体の情報提供の依頼。</li> <li>・当行からは可能な範囲での情報提供の他、民間の給食センター運営業者、コンサルティング会社の紹介と定期的な情報交換を行なった。</li> </ul> <p><b>【成果(効果)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な効果は正式決定後になるものの、「地方創生」という観点では、雇用や新規事業の創出の他、「地産地消」「食育」に繋がるものと考えられる。</li> <li>・また、川崎市のようにPFI事業となれば、PFI事業遂行に必要な地元企業とのビジネスマッチングのほか、SPCへの資金協力、参加事業者に対する融資等に関与できる可能性が高い。</li> </ul>

銀行名	横浜銀行
タイトル	環境保全活動
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 本取組みは、地域の環境を保全し、美しい環境を未来に残す活動。</p> <p>【取組み内容】 <b>商品・サービスの提供による環境保全活動</b></p> <p>(1) &lt;はまぎん&gt;ソーラーローン 太陽光発電による安全・安心な低炭素社会の実現などをめざし、住宅へのソーラーパネルの普及を支援。</p> <p>(2) &lt;はまぎん&gt;環境格付融資制度 温暖化対策にかかる設備の導入に際し、環境経営の取組み状況に応じて、金利の差し引きが受けられるほか、環境省の利子補給事業を利用する場合は、国からの利子補給金を受け取ることができる融資制度。</p> <p>(3) &lt;はまぎん&gt;マイダイレクトにおける電子交付サービス 紙資源の削減のため、インターネットバンキングにおいて、封書やはがきで郵送している投資信託関連の報告書類などを平成23年度より電子ファイルで交付。加えて平成25年度から紙の通帳を発行しないweb専用の無通帳口座サービスを開始。</p> <p>(4) 環境経営戦略セミナーの実施 省エネルギーの方策や補助金の活用、設備投資を通じた環境経営の具体例など、環境に配慮した経営戦略構築のためのセミナーを開催。</p> <p><b>環境に配慮した業務体制の構築</b></p> <p>(1) 二酸化炭素排出量削減への取組み 二酸化炭素排出量を減らすための省エネルギー活動や節電等をおこなっている。照明器具では高効率反射板の導入やLED照明への更新、空調機については節電効果の高い新型空調機への更新を実施。また、電力使用状況をモニタリングするオンデマンド監視装置を導入し、ピーク電力の抑制のため随時電力使用量を確認。</p> <p>(2) 電気自動車の活用 神奈川県での電気自動車普及活動に賛同し、平成23年度より本店の営業用車両として電気自動車を活用。二酸化炭素の排出削減に努めるとともに、本店内に設置した充電設備をお客さまに無料開放することで、県内における充電ネットワークの構築に協力。</p> <p><b>寄付やボランティア活動による植栽</b></p> <p>(1) 自治体等と連携した緑化活動 横浜市等と協力し、都市部での環境浄化植物の植栽や、森林での木の植樹などを定期的に実施。</p> <p>(2) 行員による美化活動 営業店などが主体となって地域の海岸や河川の清掃活動など参加し、行員がボランティアとして活動。</p>

銀行名	横浜銀行																												
タイトル	次世代への取組み																												
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b> 本取組みは、地域の将来を担う若い世代に焦点を当て、地域のさらなる活性化と発展をめざす活動。</p> <p><b>【取組み内容】</b> <b>子育てのための環境づくり</b></p> <p><b>(1) 幼稚園の設備投資への積極的な協力</b> 幼稚園と保育園の機能をあわせ持つ「認定こども園」の普及や待機児童の減少、地域の子育て支援の充実等を目的に、幼稚園の設備投資を積極的に支援。</p> <p><b>(2) 子育てをしながら働く行員への支援</b> ワークライフバランス支援勤務制度（こどもの養育や家族の介護のための勤務時間短縮制度）や育児休業者向け復職支援カリキュラムを通じて子育てをしながら働く行員を支援。</p> <p><b>子どもたちへ「体験する機会」と「発表する機会」の提供</b></p> <p><b>(1) 経済・金融教育</b></p> <table border="1" data-bbox="453 1025 1465 2011"> <thead> <tr> <th data-bbox="453 1025 740 1070">項目</th> <th data-bbox="746 1025 1289 1070">概要</th> <th data-bbox="1295 1025 1465 1070">対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="453 1070 740 1144">職場体験学習等</td> <td data-bbox="746 1070 1289 1144">各学校の要請に基づき、営業店において銀行業務を学ぶプログラムを実施。</td> <td data-bbox="1295 1070 1465 1144">小学生～大学生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="453 1144 740 1294">子どもアドベンチャー</td> <td data-bbox="746 1144 1289 1294">横浜市教育委員会が夏休みに実施する体験プログラムに毎年参加。本店営業部の見学やお金の大切さを学ぶワークショップを実施。平成19年より継続。</td> <td data-bbox="1295 1144 1465 1294">小学生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="453 1294 740 1406">全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)</td> <td data-bbox="746 1294 1289 1406">クイズを通して金融経済を学ぶ「エコノミクス甲子園」の神奈川大会を主催。平成20年より継続。</td> <td data-bbox="1295 1294 1465 1406">神奈川県内の高校生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="453 1406 740 1556">寄附講座</td> <td data-bbox="746 1406 1289 1556">地元大学との産学連携の取組みとして、横浜銀行グループ社員らが講師となり、金融システムや金融政策、銀行経営などをテーマに特別講義を実施。</td> <td data-bbox="1295 1406 1465 1556">大学生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="453 1556 740 1668">インターンシップ</td> <td data-bbox="746 1556 1289 1668">学生の職業意識の醸成に協力するため、神奈川県内の大学生を中心とした5日間のプログラムを実施。</td> <td data-bbox="1295 1556 1465 1668">大学生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="453 1668 740 1780">神奈川産学チャレンジプログラム</td> <td data-bbox="746 1668 1289 1780">神奈川経済同友会が主催する、学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペへの協力。</td> <td data-bbox="1295 1668 1465 1780">大学生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="453 1780 740 1892">神奈川県版あしたね</td> <td data-bbox="746 1780 1289 1892">職業学習用ウェブサイトの企画・運営に協力。お取引先などを紹介し、将来の生き方や働き方を考える機会を提供。</td> <td data-bbox="1295 1780 1465 1892">小学生～高校生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="453 1892 740 2011">おこづかいちょう・ちょきんばこ</td> <td data-bbox="746 1892 1289 2011">金融教育を目的とした当行オリジナルのノベルティ。口座開設者やCSRイベント参加者に配付。</td> <td data-bbox="1295 1892 1465 2011">18歳未満</td> </tr> </tbody> </table>		項目	概要	対象	職場体験学習等	各学校の要請に基づき、営業店において銀行業務を学ぶプログラムを実施。	小学生～大学生	子どもアドベンチャー	横浜市教育委員会が夏休みに実施する体験プログラムに毎年参加。本店営業部の見学やお金の大切さを学ぶワークショップを実施。平成19年より継続。	小学生	全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)	クイズを通して金融経済を学ぶ「エコノミクス甲子園」の神奈川大会を主催。平成20年より継続。	神奈川県内の高校生	寄附講座	地元大学との産学連携の取組みとして、横浜銀行グループ社員らが講師となり、金融システムや金融政策、銀行経営などをテーマに特別講義を実施。	大学生	インターンシップ	学生の職業意識の醸成に協力するため、神奈川県内の大学生を中心とした5日間のプログラムを実施。	大学生	神奈川産学チャレンジプログラム	神奈川経済同友会が主催する、学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペへの協力。	大学生	神奈川県版あしたね	職業学習用ウェブサイトの企画・運営に協力。お取引先などを紹介し、将来の生き方や働き方を考える機会を提供。	小学生～高校生	おこづかいちょう・ちょきんばこ	金融教育を目的とした当行オリジナルのノベルティ。口座開設者やCSRイベント参加者に配付。	18歳未満
項目	概要	対象																											
職場体験学習等	各学校の要請に基づき、営業店において銀行業務を学ぶプログラムを実施。	小学生～大学生																											
子どもアドベンチャー	横浜市教育委員会が夏休みに実施する体験プログラムに毎年参加。本店営業部の見学やお金の大切さを学ぶワークショップを実施。平成19年より継続。	小学生																											
全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)	クイズを通して金融経済を学ぶ「エコノミクス甲子園」の神奈川大会を主催。平成20年より継続。	神奈川県内の高校生																											
寄附講座	地元大学との産学連携の取組みとして、横浜銀行グループ社員らが講師となり、金融システムや金融政策、銀行経営などをテーマに特別講義を実施。	大学生																											
インターンシップ	学生の職業意識の醸成に協力するため、神奈川県内の大学生を中心とした5日間のプログラムを実施。	大学生																											
神奈川産学チャレンジプログラム	神奈川経済同友会が主催する、学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペへの協力。	大学生																											
神奈川県版あしたね	職業学習用ウェブサイトの企画・運営に協力。お取引先などを紹介し、将来の生き方や働き方を考える機会を提供。	小学生～高校生																											
おこづかいちょう・ちょきんばこ	金融教育を目的とした当行オリジナルのノベルティ。口座開設者やCSRイベント参加者に配付。	18歳未満																											

## (2) スポーツ

項目	概要	対象
横浜銀行カップ 神奈川県学童軟式野 球選手権大会	毎年夏に、神奈川県内の各地区大会の優勝・準優勝チームなど42チームが参加する軟式野球大会に冠スポンサーとして応援。平成20年より継続。	小学生
はまぎんサッカー教室	プロの選手らを講師に迎えて、実践的な指導を受けられるサッカー教室。平成19年より継続。	幼稚園～小学生

## (3) 文化・芸術

項目	概要	対象
はまぎん こども宇宙 科学館	平成20年よりネーミングライツを取得しているほか、宇宙や科学をテーマに、著名人による講演会や工作教室などの冠イベントを開催。平成25年度は開館30周年を記念して、「スペース・シミュレータ」と「階段昇降車」を寄贈。	小学生～中学生
神奈川フィルハーモ ニー管弦楽団との連 携事業	神奈川県唯一のプロオーケストラである神奈川フィルと連携して、未就学児を対象としたオーケストラコンサートや、小学校への出張講演会を開催。	未就学児～小学生

銀行名	横浜銀行
タイトル	魅力あふれる地域づくり
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b> 本取組みは、魅力あふれる地域づくりに貢献する活動。</p> <p><b>安心して暮らせるまちづくりのために</b></p> <p><b>（１）バリアフリーへの取組み</b> すべてのお客さまがご利用になりやすい店づくりの一環として、「サービス・ケア・アテンダント」の資格取得を勧めており、これまでに約 300 人が資格を取得。また、「筆談器」等のバリアフリーツールを備置。</p> <p><b>（２）A E D（自動対外式除細動器）</b> A E Dを国内すべての本支店に設置。管理役職者らが各自治体の消防署等で実施している「普通救命講習」を受講。</p> <p><b>（３）「こども 110 番の店」活動</b> 子どもたちを犯罪から守るため、「こども 110 番の店」活動を神奈川県警察本部と実施。こどもが身の危険を感じたときに駆け込んで助けを求めることができる避難場所として、神奈川県内の有人店舗を提供。</p> <p><b>（４）お客さま用車いす</b> お客さま用車いすを国内すべての本支店に設置。設置にあたり、車いすを使った介助の方法や乗車体験などの事前研修会を各店で実施し、行員の応対力の向上をはかっています。</p> <p><b>独自性あふれる地域づくりのために</b></p> <p><b>（１）地方創生推進プロジェクトチームの設置</b> 地方公共団体がまとめる「地方版総合戦略」の策定および推進に協力するため、「地方創生推進プロジェクトチーム」を設置。産官学労言と連携し、地域金融機関が持つ情報や知見等を生かして積極的にソリューションを提供。</p> <p><b>（２）地域畜産物のブランド力強化</b> 地域畜産物のブランド力を強化するため、お客さまの神奈川県産食材の安定調達と新商品の販路開拓に協力し、県産ブランド牛「やまゆり牛」を使用したカレーの開発を支援。</p> <p><b>（３）横浜 DeNA ベイスターズとの取組み</b> 横浜 DeNA ベイスターズが毎年 8 月に開催している夏の一大イベント「YOKOHAMA STAR NIGHT」に特別協賛をしているほか、勝利数に応じて金利の上乗せや、サイン入りユニフォームが抽選であたる「横浜 DeNA ベイスターズ応援定期」を発売するなどの施策を展開。</p> <p><b>（４）地域イベントへの積極的な参加</b> 各支店が「横浜マラソン」などのイベントや地元のお祭りなどにボランティア活動に積極的に参加。</p> <p><b>（５）横浜銀行アイスアリーナ無料開放デーの開催</b> 当行がオフィシャルパートナーとなっている「横浜銀行アイスアリーナ」に 8 0 0 名をご招待するイベントを開催。</p>

**女性が活躍できる社会づくりのために**

**(1) 女性経営者の活躍を応援**

女性の活躍による地域経済活性化を応援するため、関連会社の浜銀総合研究所では女性経営者ならではの優れた経営手腕等を称える「ビジネスウーマン・アワード」や「女性経営塾」を開催。

**(2) 働く女性のゆたかな未来づくりを応援**

働く女性たちの輝くライフスタイルの実現とゆたかな未来づくりを応援する「HAMAKO プロジェクト」に取り組んでいる中で、資産運用などの「知っておきたいお金の話」をお伝えする「ハッピー マネー塾」などを開催。

**(3) 行内の女性活躍への取組み**

企業や社会全体を活性化する大きな力として期待される女性の活躍を推進するため、支店長級やそれに続く管理役職者にも積極的に登用。管理役職者前の女性行員には、自らのキャリアビジョンを明確にするため、活躍する先輩女性行員の講演や出席者同士のディスカッションをおこなう「女性塾」を実施。